

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療用麻薬適正使用推進事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	監視指導・麻薬対策課		課長 中井川 誠	
会計区分	一般会計		施策名	IV-4-3 麻薬・覚せい剤等の乱用を防止する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	がん対策基本法第9条第1項		関係する計画、通知等	がん対策推進基本計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療用麻薬の適正管理と適正使用の推進を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療関係者等向けに、医療用麻薬の適正使用推進のための講習会の開催。</li> <li>都道府県の薬務担当職員を対象に、医療用麻薬等指導監督業務研修を実施し、全国的に統一した管理・指導監督を実施。</li> <li>在宅での医療用麻薬使用推進モデル事業を実施。</li> </ul>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	17	9	8	55	34
		補正予算					
		繰越し等					
		計	17	9	8	55	34
		執行額	8	2	7		
	執行率(%)	47%	22%	88%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は、医療用麻薬について、全国的に統一した適正な使用・管理・指導が行われることを目的としており、成果について定量的に示すことはできない。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	①講習会場数 ②講習参加者数 ③研修参加数 ④医療用麻薬適正使用ガイダンス作成部数 ⑤モデル事業実施地域	活動実績 (当初見込み)	①箇所	12	11	12(12)	(13)
			②人	2169	1746	2383(2400)	(2400)
			③人	40	40	39(47)	(47)
			④部			95,000(95,000)	(-)
			⑤地域			-	(10)
単位当たりコスト	①339,417円/箇所 ②1,709円/人 ③205円/人 ④27円/部	算出根拠	①執行額(4,073千円)/会場数 ②執行額(4,073千円)/参加者数 ③執行額(8千円)/参加者数 ④執行額(2,603千円)/作成部数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.2	0.2	システム開発経費等の減			
	職員旅費	0.4	0.4				
	委員等旅費	0.7	0.7				
	医薬品審査等業務庁費	46.0	24.6				
	検定検査事務等委託費	8.0	8.0				
	計	55.3	33.9				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	医療関係者に対し、医療用麻薬適正使用のための管理・指導等を行うことにより、がん患者の生活の質の向上を図られるため、国民のニーズの高い必要な事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	医療関係者に対し、医療用麻薬適正使用のための管理・指導等を行うことは国が実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	一般競争入札による落札差額である。予算額については、執行額を踏まえた削減を行っている。なお、平成24年度予算は、在宅での医療用麻薬使用推進モデル事業を新たに行うため、増額している。
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	医療用麻薬の適正使用ガイドンスの作成に当たっては一般競争入札での調達を行い低コスト化を図った。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	配布先についても麻薬施用者の割合、医療用麻薬の施用頻度が高い機関等を中心に効率的に配布した。医療用麻薬等指導監督業務研修では庁舎会議室を会場として使用する等、低コスト化を図った。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業目的に即した適正な執行を行っている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	医療用麻薬の適正使用に関する講習会の開催や、医療用麻薬の適正使用ガイドンスを配布することは実効性の高い手段である。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	概ね見込みどおりである。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	医療用麻薬の適正使用ガイドンスを配布することにより、本事業の推進における一助となった。
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療用麻薬について、全国的に統一して適正な管理・使用・指導が行われるために必要な事業である。</li> <li>・がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会については、今後も必要な見直しを行い、適正な執行に努める。</li> <li>・医療用麻薬等指導監督業務研修については、引き続き庁舎会議室を会場として利用する等の低コスト維持に努める。</li> <li>・在宅での医療用麻薬使用推進モデル事業については、医療用麻薬を適切な管理のもと適正かつ円滑な麻薬小売業者間譲渡を推進するためのシステム開発に着手した。</li> </ul>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	本事業は、医療用麻薬の適正管理と適正使用の推進を図るため必要な経費であるが、執行状況及び事業計画を検証し、引き続き適切な予算措置とすること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	システム開発経費等の減		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	348	平成23年行政事業レビュー	316

※平成23年度実績を記入

厚生労働省  
6.7百万円

A. 事務費6.7百万円  
(印刷製本費、会場借料、旅費、諸謝金)

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・用途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費目と用途の双方 で実情が分かるように記載）	A.(株)ネッツ			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	印刷製本費	医療用麻薬適正使用ガイドスの印刷	2.5			
	計		2.5	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ネッツ	医療用麻薬適正使用ガイドス 95,000部	2.47	6	50%
2	よみうりホール	会場等借上一式 がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会	0.67	随意契約	
3	(株)豊島	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(東京) 1,100部	0.39	随意契約	
4	(財団)神戸国際観光コンベンション協会	会場等借上一式 がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会	0.37	随意契約	
5	(株)豊島	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(神戸) 700部	0.29	随意契約	
6	(株)ポルファートとやま	会場等借上一式 がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会	0.21	随意契約	
7	(株)豊島	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(香川) 250部	0.15	随意契約	
8	(株)豊島	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(鳥取) 230部	0.14	随意契約	
9	(株)豊島	がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会(群馬) 230部	0.14	随意契約	
10	T・H・Bファシリティズ	会場等借上一式 がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会	0.14	随意契約	